

(果樹—落葉果樹—品種)

(豊前一果樹)

課題名	32 特産果樹の生産安定と商品性向上技術の確立	分類	①
	(2) リンゴの品種適応性		
試験研究年次	58～2年(完了)		
I 目的			
暖地向き品種の中から、本県に適應する品種を選定して、リンゴ栽培の生産安定と商品性の向上を図るための資料とする。			
II 試験方法			
1 供試材料			
台木：M9			
穂木品種：夏緑、花祝、みちのく、つがる、夏香、轟系つがる、紅月、千秋、陽光、ジョナ・ゴールド、王林、ふじ			
2 供試場所 場内圃場			
3 試験区の構成			
各品種 4本供試			
4 試験処理			
場 所：場 内			
植え付け：59年3月			
整 枝 法：スレンダースピンドルブッシュ(細形紡錘形仕立て)			
栽植距離：4.0m×2.5m(100本/10a)			
III 主要成果の概要			
本県では早生種‘つがる’の着色系枝変わり‘夏香’、‘轟系つがる’及び晩生種の‘王林’、‘ふじ’を主力として、中生種の‘紅月’、‘千秋’及び‘陽光’を組み合わせた品種構成が良い。			
1 早生種の‘つがる’は収量が多く品質も良好であるが、着色はやや劣る。つがるの枝変わり品種‘夏香’及び‘轟系つがる’は‘つがる’より着色が良く、収量・品質も同程度である。			
2 中生種では、‘紅月’、晩生種は‘王林’及び‘ふじ’が収量・品質が優れる。			
3 ‘千秋’は収量はやや低いが生味が良い。‘陽光’はサビが多いが、果実が大きく、着色が良いので、中生種の主要品種として有望である。			
4 ‘花祝’は着色及び食味とも不良で、‘みちのく’はサビと裂果が多い。‘ジョナ・ゴールド’は果実の生理障害が多く、しかも果肉が軟化しやすい。これら3品種は本県での適應性は低い。			

IV 主要成果の具体的データ

第1表 生育及び収量調査

(63~2年)

品 種	発芽期	満開期	収穫期	1樹当たり収量			
				63年	1年	2年	累計
	月.日	月.日	月.日	kg	kg	kg	kg
夏 緑	3.16~4.6	4.14~4.28	7.18~7.28	9.9	11.4	17.8	39.1
花 祝	3.15~4.7	4.14~5.1	8.3~8.8	7.5	5.5	—	—
みちのく	3.16~4.8	4.19~5.1	8.10~8.22	6.1	11.2	—	—
つがる	3.16~4.6	4.15~4.29	8.16~8.29	10.9	10.0	13.4	34.3
夏 香	3.16~4.6	4.18~4.29	8.16~8.29	10.8	10.5	12.1	33.4
轟系つがる	3.16~4.6	4.16~4.29	8.16~8.29	14.6	14.8	20.1	49.5
紅 月	3.14~4.5	4.17~4.30	9.19~9.25	10.8	17.0	17.0	44.8
千 秋	3.15~4.7	4.15~4.29	9.25~9.29	5.2	8.8	11.9	25.9
陽 光	3.25~4.7	4.20~5.2	9.27~10.3	12.0	19.6	21.2	52.8
ジョナ・ゴールド	3.22~4.5	4.19~4.29	10.6~10.12	13.2	7.4	—	—
王 林	3.16~4.5	4.14~4.28	10.18~10.20	13.3	14.2	21.1	48.6
ふ じ	3.20~4.7	4.17~5.1	11.4~11.17	7.9	23.7	33.7	65.3

第2表 品質調査

品 種	1果重	着色	糖度	酸度	サビ	生理落果		備 考	
						早期	後期		
	g	カラ-チャート %	%	%					
夏 緑	133	—	—	11.6	0.38	少	少	少	
花 祝	199	2.7	49	13.6	0.62	多	中	多	酸味強く食味不良
みちのく	217	4.1	85	13.8	0.41	多	中	多	裂果多く外観不良
つがる	267	2.7	65	13.2	0.31	中	中	多	着色不良
夏 香	268	2.7	74	13.8	0.33	中	中	多	
轟系つがる	277	2.9	72	13.8	0.33	少	中	多	
紅 月	270	3.1	71	14.2	0.25	少	少	多	枝が衰弱しやすい
千 秋	243	2.8	84	14.1	0.36	中	少	少	食味良好
陽 光	336	3.1	81	13.5	0.34	多	少	少	さび多く外観不良
ジョナ・ゴールド	354	3.3	65	13.9	0.40	中	多	多	果実が軟化する
王 林	279	—	—	14.5	0.32	中	少	中	
ふ じ	271	3.8	68	13.9	0.34	中	少	少	着色やや不良

注) 着色%は果面のカラ-チャート色の割合

V 成果の評価と取扱上の留意点  
暖地におけるリンゴの品種導入の有効な資料となる。

VI 今後の研究上の問題点  
本県に適応する優良系統の選定

VII 資料名  
1 福岡県農業総合試験場研究報告(B) 第9号  
2 59~2年度 福岡県農業総合試験場豊前分場果樹研究室成績書